# 北陸地方整備局の事業進捗等について

別紙1

| 事業名<br>（箇所名） | 実施箇所 | 事業期間等 | 総事業費（億円）<br>上段：前回評価時<br>下段：現時点 | 事業を巡る社会経済情勢等の変化 | 主な事業の進捗状況 | 主な事業の進捗の見込み | コスト縮減や代替案等の可能性 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 国道7号<br>新発田拡幅 | 自：新潟県新発田市奥山新保<br>至：新潟県新発田市三日市 | 平成3年度事業化<br>平成6年度用地着手<br>平成12年度工事着手 | 340<br>340 | ・地元情勢の変化等事業を巡る社会経済情勢等に大きな変化が見られない。 | 用地進捗率：約59%<br>事業進捗率：約53%<br>（令和6年3月末時点）<br><br>舟入交差点～小舟町交差点<br>L=1.8km(4/4) 平成27年度迄開通 | R6年度は以下内容を実施<br>・調査推進<br>調査設計<br>・用地買収推進<br>城北町地区ほか用地買収 | ・建設発生土の有効活用や新技術の活用等により、コスト縮減を図る。 |
| 国道7号<br>朝日温海道路 | 自：新潟県村上市川端<br>至：山形県鶴岡市大岩川 | 平成25年度事業化<br>平成27年度用地着手<br>平成28年度工事着手 | 2,380<br>2,380 | ・地元情勢の変化等事業を巡る社会経済情勢等に大きな変化が見られない。 | 用地進捗率：約99%<br>事業進捗率：約44%<br>（令和6年3月末時点） | R6年度は以下内容を実施【新潟県】<br>・調査推進<br>調査設計<br>・用地買収推進<br>板屋越地区ほか用地買収<br>公共補償<br>・工事推進<br>大須戸地区ほか改良工<br>（仮称）2号、4号、9号、11号トンネル工<br>（仮称）大川橋ほか下部工 | ・建設発生土の有効活用や新技術の活用等により、コスト縮減を図る。 |
| 国道8号<br>栄拡幅 | 自：新潟県三条市一ツ屋敷新田<br>至：新潟県三条市千把野新田 | 令和4年度事業化 | 150<br>150 | ・地元情勢の変化等事業を巡る社会経済情勢等に大きな変化が見られない。 | 用地進捗率：0%<br>事業進捗率：約1%<br>（令和6年3月末時点） | R6年度は以下内容を実施<br>・調査推進<br>調査設計 | ・技術の進展に伴う新工法の採用等、コスト縮減に努めながら引き続き事業を推進していく。 |

# 北陸地方整備局の事業進捗等について

別紙1

| 事業名<br>（箇所名） | 実施箇所 | 事業期間等 | 総事業費（億円）<br>上段：前回評価時<br>下段：現時点 | 事業を巡る社会経済情勢等の変化 | 主な事業の進捗状況 | 主な事業の進捗の見込み | コスト縮減や代替案等の可能性 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 国道8号<br>柏崎バイパス | 自：新潟県柏崎市長崎<br>至：新潟県柏崎市鯨波 | 昭和62年度事業化<br>平成3年度用地着手<br>平成5年度工事着手 | 856<br>856 | ・地元情勢の変化等事業を巡る社会経済情勢等に大きな変化が見られない。 | 用地進捗率：約93%<br>事業進捗率：約81%<br>（令和6年3月末時点）<br><br>柏崎市山本～柏崎市東原町<br>L=0.5km(2/4) 平成17年度開通<br><br>柏崎市茨目～柏崎市鯨波<br>L=6.2km(2/4) 令和4年度迄開通 | R6年度は以下内容を実施<br>・調査推進<br>調査設計<br>・用地買収推進<br>公共補償<br>・工事推進<br>宝田地区ほか改良工 | ・建設発生土の有効活用や新技術の活用等により、コスト縮減を図る。 |
| 国道8号<br>直江津バイパス | 自：新潟県上越市大潟区犀潟<br>至：新潟県上越市虫生岩戸 | 昭和41年度事業化<br>昭和42年度用地着手<br>昭和43年度工事着手 | 360<br>360 | ・地元情勢の変化等事業を巡る社会経済情勢等に大きな変化が見られない。 | 用地進捗率：約85%<br>事業進捗率：約68%<br>（令和6年3月末時点）<br><br>上越市大潟区犀潟～上越市下荒浜<br>L=2.8km(2/4) 昭和46年度開通<br><br>上越市国府～上越市虫生岩戸<br>L=2.4km(2/2) 昭和49年度開通<br><br>上越市下荒浜～上越市国府<br>L=6.9km(4/4) 平成17年度迄開通<br><br>上越市安江～上越市塩屋新田<br>L=1.5km(5/5) 令和5年度迄開通 | R6年度は以下内容を実施<br>・調査推進<br>調査設計<br>・用地買収推進<br>公共補償<br>・工事推進<br>安江地区改良工 | ・建設発生土の有効活用や新技術の活用等により、コスト縮減を図る。 |
| 国道8号<br>糸魚川東バイパス | 自：新潟県糸魚川市間脇<br>至：新潟県糸魚川市押上 | 平成元年度事業化<br>平成4年度用地着手<br>平成10年度工事着手 | 450<br>450 | ・地元情勢の変化等事業を巡る社会経済情勢等に大きな変化が見られない。 | 用地進捗率：約81%<br>事業進捗率：約69%<br>（令和6年3月末時点）<br><br>糸魚川市梶屋敷～糸魚川市押上<br>L=3.1km(2/4) 平成27年度迄開通 | R6年度は以下内容を実施<br>・調査推進<br>調査設計 | ・建設発生土の有効活用や新技術の活用等により、コスト縮減を図る。 |

# 北陸地方整備局の事業進捗等について

別紙1

| 事業名<br>（箇所名） | 実施箇所 | 事業期間等 | 総事業費（億円）<br>上段：前回評価時<br>下段：現時点 | 事業を巡る社会経済情勢等の変化 | 主な事業の進捗状況 | 主な事業の進捗の見込み | コスト縮減や代替案等の可能性 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 国道17号<br>六日町バイパス | 自：新潟県南魚沼市竹俣<br>至：新潟県南魚沼市庄之又 | 平成6年度事業化<br>平成10年度用地着手<br>平成12年度工事着手 | 342<br>342 | ・地元情勢の変化等事業を巡る社会経済情勢等に大きな変化が見られない。 | 用地進捗率：約87%<br>事業進捗率：約73%<br>（令和6年3月末時点）<br><br>南魚沼市小栗山～南魚沼市余川<br>L=2.5km(2/4) 令和3年度迄開通 | R6年度は以下内容を実施<br>・調査推進<br>調査設計<br>・用地買収推進<br>竹俣地区用地買収<br>公共補償<br>・工事推進<br>小栗山地区改良工<br>（仮称）JR跨線橋下部工 | ・建設発生土の有効活用や新技術の活用等により、コスト縮減を図る。 |
| 国道17号<br>浦佐バイパス | 自：新潟県南魚沼市市野江甲<br>至：新潟県魚沼市虫野 | 昭和63年度事業化<br>平成5年度用地着手<br>平成9年度工事着手 | 230<br>230 | ・地元情勢の変化等事業を巡る社会経済情勢等に大きな変化が見られない。 | 用地進捗率：100%<br>事業進捗率：約89%<br>（令和6年3月末時点）<br><br>南魚沼市浦佐～魚沼市虫野<br>L=5.0km(2/2) 令和3年度迄開通 | R6年度は以下内容を実施<br>・調査推進<br>調査設計<br>・用地買収推進<br>公共補償<br>・工事推進<br>（仮称）新浦佐大橋下部工 | ・建設発生土の有効活用や新技術の活用等により、コスト縮減を図る。 |
| 国道18号<br>上新バイパス | 自：新潟県上越市中郷区市屋<br>至：新潟県上越市下源入 | 昭和50年度事業化<br>昭和50年度用地着手<br>昭和53年度工事着手 | 944<br>944 | ・地元情勢の変化等事業を巡る社会経済情勢等に大きな変化が見られない。 | 用地進捗率：約94%<br>事業進捗率：約63%<br>（令和6年3月末時点）<br><br>上越市市屋～上越市寺町北<br>L=13.0km(2/4) 平成3年度迄開通<br><br>上越市寺町北～上越市下源入<br>L=11.6km(4/4) 令和3年度迄開通 | R6年度は以下内容を実施<br>・調査推進<br>調査設計<br>・用地買収推進<br>公共補償 | ・建設発生土の有効活用や新技術の活用等により、コスト縮減を図る。 |

# 北陸地方整備局の事業進捗等について

別紙1

| 事業名<br>（箇所名） | 実施箇所 | 事業期間等 | 総事業費（億円）<br>上段：前回評価時<br>下段：現時点 | 事業を巡る社会経済情勢等の変化 | 主な事業の進捗状況 | 主な事業の進捗の見込み | コスト縮減や代替案等の可能性 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 国道49号<br>水原バイパス | 自：新潟県阿賀野市寺社<br>至：新潟県阿賀野市下黒瀬 | 平成12年度事業化<br>平成15年度用地着手<br>平成17年度工事着手 | 410<br>410 | ・地元情勢の変化等事業を巡る社会経済情勢等に大きな変化が見られない。 | 用地進捗率：100%<br>事業進捗率：約81%<br>（令和6年3月末時点）<br><br>阿賀野市百津～阿賀野市下黒瀬<br>L=5.4km（2/4）令和4年度開通 | R6年度は以下内容を実施<br>・調査推進<br>調査設計<br>・用地買収推進<br>公共補償<br>・工事推進<br>寺社地区ほか改良工<br>寺社地区ほか舗装工<br><br>阿賀野市寺社～阿賀野市百津<br>L=2.7km(2/4)令和7年内開通予定 | ・建設発生土の有効活用や新技術の活用等により、コスト縮減を図る。 |
| 国道113号<br>鷹ノ巣道路 | 自：新潟県岩船郡関川村大字下川口<br>至：新潟県岩船郡関川村大字片貝 | 平成9年度事業化<br>平成13年度用地着手<br>平成13年度工事着手 | 250<br>250 | ・地元情勢の変化等事業を巡る社会経済情勢等に大きな変化が見られない。 | 用地進捗率：100%<br>事業進捗率：約65%<br>（令和6年3月末時点） | R6年度は以下内容を実施<br>・調査推進<br>調査設計<br>・用地買収推進<br>公共補償<br>・工事推進<br>片貝地区改良工<br>（仮称）1号トンネル工 | ・建設発生土の有効活用や新技術の活用等により、コスト縮減を図る。 |
| 国道113号<br>小国道路 | 自：新潟県岩船郡関川村大字金丸<br>至：山形県西置賜郡小国町大字松岡 | 令和元年度事業化 | 350<br>350 | ・地元情勢の変化等事業を巡る社会経済情勢等に大きな変化が見られない。 | 用地進捗率：約57%<br>事業進捗率：約10%<br>（令和6年3月末時点） | R6年度は以下内容を実施【新潟県】<br>・調査推進<br>調査設計 | ・技術の進展に伴う新工法の採用等、コスト縮減に努めながら引き続き事業を推進していく。 |

# 北陸地方整備局の事業進捗等について

別紙1

| 事業名<br>（箇所名） | 実施箇所 | 事業期間等 | 総事業費（億円）<br>上段：前回評価時<br>下段：現時点 | 事業を巡る社会経済情勢等の変化 | 主な事業の進捗状況 | 主な事業の進捗の見込み | コスト縮減や代替案等の可能性 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 国道116号<br>吉田バイパス | 自：新潟県燕市熊森<br>至：新潟県新潟市西蒲区高橋 | 令和2年度事業化<br>令和4年度用地着手 | 350<br>350 | ・地元情勢の変化等事業を巡る社会経済情勢等に大きな変化が見られない。 | 用地進捗率：約2%<br>事業進捗率：約2%<br>（令和6年3月末時点） | R6年度は以下内容を実施【新潟県】<br>・調査推進<br>調査設計<br>・用地買収推進<br>吉田吉栄地区ほか用地買収<br><br>R6年度は以下内容を実施【新潟市】<br>・調査推進<br>調査設計 | ・技術の進展に伴う新工法の採用等、コスト縮減に努めながら引き続き事業を推進していく。 |
| 国道253号<br>上越三和道路 | 自：新潟県上越市寺<br>至：新潟県上越市三和区本郷 | 平成13年度事業化<br>平成13年度用地着手<br>平成14年度工事着手 | 780<br>780 | ・地元情勢の変化等事業を巡る社会経済情勢等に大きな変化が見られない。 | 用地進捗率：100%<br>事業進捗率：約49%<br>（令和6年3月末時点）<br><br>上越市寺～上越市鶴町<br>L=3.0km(2/4) 平成30年度開通 | R6年度は以下内容を実施<br>・調査推進<br>調査設計<br>・用地買収推進<br>公共補償<br>・工事推進<br>岡木地区ほか改良工<br>（仮称）鶴岡第二跨道橋ほか<br>下部工 | ・建設発生土の有効活用や新技術の活用等により、コスト縮減を図る。 |
| 国道253号<br>十日町道路 | 自：新潟県十日町市北鐙坂<br>至：新潟県十日町市八箇 | 令和元年度事業化<br>令和5年度用地着手 | 620<br>620 | ・地元情勢の変化等事業を巡る社会経済情勢等に大きな変化が見られない。 | 用地進捗率：0%<br>事業進捗率：約2%<br>（令和6年3月末時点） | R6年度は以下内容を実施<br>・調査推進<br>調査設計<br>・用地買収推進<br>水沢地区用地買収 | ・建設発生土の有効活用や新技術の活用等により、コスト縮減を図る。 |

# 北陸地方整備局の事業進捗等について

別紙1

| 事業名<br>（箇所名） | 実施箇所 | 事業期間等 | 総事業費（億円）<br>上段：前回評価時<br>下段：現時点 | 事業を巡る社会経済情勢等の変化 | 主な事業の進捗状況 | 主な事業の進捗の見込み | コスト縮減や代替案等の可能性 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 国道253号<br>八箇峠道路 | 自：新潟県十日町市八箇<br>至：新潟県南魚沼市余川 | 平成12年度事業化<br>平成12年度工事着手<br>平成13年度用地着手 | 603<br>603 | ・地元情勢の変化等事業を巡る社会経済情勢等に大きな変化が見られない。 | 用地進捗率：約99%<br>事業進捗率：約88%<br>（令和6年3月末時点）<br><br>十日町市八箇～南魚沼市野田<br>L=6.6km(2/2) 平成29年度開通 | R6年度は以下内容を実施<br>・調査推進<br>調査設計<br>・用地買収推進<br>余川地区用地買収<br>公共補償<br>・工事推進<br>余川地区改良工 | ・建設発生土の有効活用や新技術の活用等により、コスト縮減を図る。 |
| 国道289号<br>八十里越 | 自：新潟県三条市塩野渕字御所<br>至：福島県南会津郡只見町大字叶津字木ノ根山 | 昭和61年度事業化<br>平成元年度工事着手<br>平成2年度用地着手 | 825<br>825 | ・地元情勢の変化等事業を巡る社会経済情勢等に大きな変化が見られない。 | 用地進捗率：約97%<br>事業進捗率：約89%<br>（令和6年3月末時点） | R6年度は以下内容を実施【新潟県】<br>・調査推進<br>調査設計<br>・工事推進<br>塩野渕地区改良工<br>塩野渕地区舗装工<br><br>R6年度は以下内容を実施【福島県】<br>・調査推進<br>調査設計<br>・工事推進<br>叶津地区改良工<br>叶津地区舗装工 | ・建設発生土の有効活用や新技術の活用等により、コスト縮減を図る。 |
| 国道7号<br>沼垂道路 | 自：新潟県新潟市中央区万代三丁目<br>至：新潟県新潟市中央区沼垂東二丁目 | 令和4年度事業化 | 430<br>430 | ・地元情勢の変化等事業を巡る社会経済情勢等に大きな変化が見られない。 | 用地進捗率：0%<br>事業進捗率：約1%<br>（令和6年3月末時点） | R6年度は以下内容を実施<br>・調査推進<br>調査設計<br>・用地買収推進<br>公共補償 | ・技術の進展に伴う新工法の採用等、コスト縮減に努めながら引き続き事業を推進していく。 |

# 北陸地方整備局の事業進捗等について

別紙1

| 事業名<br>（箇所名） | 実施箇所 | 事業期間等 | 総事業費（億円）<br>上段：前回評価時<br>下段：現時点 | 事業を巡る社会経済情勢等の変化 | 主な事業の進捗状況 | 主な事業の進捗の見込み | コスト縮減や代替案等の可能性 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 国道7号<br>栗ノ木道路 | 自：新潟県新潟市中央区沼垂東<br>至：新潟県新潟市中央区鐙 | 平成19年度事業化<br>平成20年度用地着手<br>平成24年度工事着手 | 450<br>450 | ・地元情勢の変化等事業を巡る社会経済情勢等に大きな変化が見られない。 | 用地進捗率：約97%<br>事業進捗率：約58%<br>（令和6年3月末時点） | R6年度は以下内容を実施<br>・調査推進<br>調査設計<br>・用地買収推進<br>南笹口地区ほか用地買収<br>公共補償<br>・工事推進<br>（仮称）栗ノ木高架橋下部工<br>（仮称）栗ノ木高架橋上部工着手 | ・建設発生土の有効活用や新技術の活用等により、コスト縮減を図る。 |
| 国道7号<br>紫竹山道路 | 自：新潟県新潟市中央区鐙<br>至：新潟県新潟市中央区紫竹山 | 平成23年度事業化<br>平成24年度用地着手<br>平成24年度工事着手 | 340<br>340 | ・地元情勢の変化等事業を巡る社会経済情勢等に大きな変化が見られない。 | 用地進捗率：約99%<br>事業進捗率：約49%<br>（令和6年3月末時点） | R6年度は以下内容を実施<br>・調査推進<br>調査設計<br>・用地買収推進<br>紫竹山地区用地買収<br>公共補償<br>・工事推進<br>紫竹山地区ほか改良工<br>（仮称）栗ノ木高架橋下部工<br>（仮称）栗ノ木高架橋上部工着手 | ・建設発生土の有効活用や新技術の活用等により、コスト縮減を図る。 |
| 国道116号<br>新潟西道路 | 自：新潟県新潟市西区明田<br>至：新潟県新潟市西区曽和 | 令和元年度事業化<br>令和3年度用地着手 | 300<br>300 | ・令和2年度に一般国道116号吉田バイパスが事業化 | 用地進捗率：約48%<br>事業進捗率：約3%<br>（令和6年3月末時点） | R6年度は以下内容を実施<br>・調査推進<br>調査設計<br>・用地買収推進<br>道河原地区ほか用地買収 | ・建設発生土の有効活用やコンクリート二次製品の活用等により、コスト縮減を図る。 |

# 北陸地方整備局の事業進捗等について

別紙1

| 事業名<br>（箇所名） | 実施箇所 | 事業期間等 | 総事業費（億円）<br>上段：前回評価時<br>下段：現時点 | 事業を巡る社会経済情勢等の変化 | 主な事業の進捗状況 | 主な事業の進捗の見込み | コスト縮減や代替案等の可能性 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 国道8号<br>入善黒部バイパス | 自：富山県下新川郡入善町椚山<br>至：富山県魚津市江口 | 平成2年度事業化<br>平成5年度用地着手<br>平成6年度工事着手 | 917<br>917 | ・地元情勢の変化等事業を巡る社会経済情勢等に大きな変化が見られない。F25F31F21:F28F21:F31 | 用地進捗率：約99%<br>事業進捗率：約86%<br>（令和6年3月末時点）<br><br>入善町上野～魚津市江口<br>L=14.0km(2/4) 平成26年度迄開通 | R6年度は以下内容を実施<br>・調査推進<br>調査設計<br>・用地買収推進<br>公共補償<br>・工事推進<br>入膳地区ほか改良工<br>出来島高架橋ほか下部工<br>上野地区舗装工 | ・建設発生土の有効活用や新技術の活用等により、コスト縮減を図る。 |
| 国道8号<br>豊田新屋立体 | 自：富山県富山市小西<br>至：富山県富山市粟島町 | 平成21年度事業化<br>平成26年度用地着手<br>平成29年度工事着手 | 340<br>340 | ・地元情勢の変化等事業を巡る社会経済情勢等に大きな変化が見られない。 | 用地進捗率：100%<br>事業進捗率：約76%<br>（令和6年3月末時点） | R6年度は以下内容を実施<br>・調査推進<br>調査設計<br>・用地買収推進<br>公共補償<br>・工事推進<br>新屋地区ほか改良工<br>（仮称）飯野新屋跨道橋ほか下部工<br>富山跨線橋上部工 | ・建設発生土の有効活用や新技術の活用等により、コスト縮減を図る。 |
| 国道8号<br>中島本郷立体 | 自：富山県富山市中島<br>至：富山県射水市白石 | 令和3年度事業化<br>令和5年度用地着手 | 450<br>450 | ・地元情勢の変化等事業を巡る社会経済情勢等に大きな変化が見られない。 | 用地進捗率：0%<br>事業進捗率：約1%<br>（令和6年3月末時点） | R6年度は以下内容を実施<br>・調査推進<br>調査設計<br>・用地買収推進<br>金山新地区用地買収 | ・技術の進展に伴う新工法の採用等、コスト縮減に努めながら引き続き事業を推進していく。 |

# 北陸地方整備局の事業進捗等について

別紙1

| 事業名<br>（箇所名） | 実施箇所 | 事業期間等 | 総事業費（億円）<br>上段：前回評価時<br>下段：現時点 | 事業を巡る社会経済情勢等の変化 | 主な事業の進捗状況 | 主な事業の進捗の見込み | コスト縮減や代替案等の可能性 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 国道8号<br>六家立体 | 自：富山県高岡市石塚<br>至：富山県高岡市六家 | 令和元年度事業化<br>令和2年度工事着手 | 115<br>115 | ・地元情勢の変化等事業を巡る社会経済情勢等に大きな変化が見られない。 | 用地進捗率：100%<br>事業進捗率：約40%<br>（令和6年3月末時点） | R6年度は以下内容を実施<br>・調査推進<br>調査設計<br>・用地買収推進<br>公共補償<br>・工事推進<br>（仮称）祖父川橋ほか下部工 | ・新技術の活用等により、コスト縮減を図る。 |
| 国道41号<br>猪谷楡原道路 | 自：富山県富山市猪谷<br>至：富山県富山市楡原 | 平成9年度事業化<br>平成13年度用地着手<br>平成14年度工事着手 | 485<br>485 | ・地元情勢の変化等事業を巡る社会経済情勢等に大きな変化が見られない。 | 用地進捗率：100%<br>事業進捗率：約79%<br>（令和6年3月末時点）<br><br>富山市片掛～富山市楡原<br>L=5.8km(2/2) 平成22年度迄開通 | R6年度は以下内容を実施<br>・調査推進<br>調査設計<br>・用地買収推進<br>公共補償<br>・工事推進<br>舟渡地区改良工<br>（仮称）片掛橋下部工 | ・建設発生土の有効活用や新技術の活用等により、コスト縮減を図る。 |
| 国道41号<br>大沢野富山南道路 | 自：富山県富山市楡原<br>至：富山県富山市栗山 | 平成26年度事業化<br>平成29年度用地着手<br>令和元年度工事着手 | 380<br>380 | ・地元情勢の変化等事業を巡る社会経済情勢等に大きな変化が見られない。 | 用地進捗率：約52%<br>事業進捗率：約28%<br>（令和6年3月末時点） | R6年度は以下内容を実施<br>・調査推進<br>調査設計<br>・用地買収推進<br>塩地区ほか用地買収<br>・工事推進<br>福居地区ほか改良工 | ・建設発生土の有効活用や新技術の活用等により、コスト縮減を図る。 |

# 北陸地方整備局の事業進捗等について

別紙1

| 事業名<br>（箇所名） | 実施箇所 | 事業期間等 | 総事業費（億円）<br>上段：前回評価時<br>下段：現時点 | 事業を巡る社会経済情勢等の変化 | 主な事業の進捗状況 | 主な事業の進捗の見込み | コスト縮減や代替案等の可能性 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 国道8号<br>海側幹線<br>（今町～鞍月） | 自：石川県金沢市今町<br>至：石川県金沢市千木町<br>自：石川県金沢市大河端西<br>至：石川県金沢市鞍月 | 令和2年度事業化<br>令和5年度用地着手 | 650<br>650 | ・地元情勢の変化等事業を巡る社会経済情勢等に大きな変化が見られない。 | 用地進捗率：0%<br>事業進捗率：約1%<br>（令和6年3月末時点） | R6年度は以下内容を実施<br>・調査推進<br>調査設計<br>・用地買収推進<br>福久地区ほか用地買収 | ・技術の進展に伴う新工法の採用等、コスト縮減に努めながら引き続き事業を推進していく。 |
| 国道8号<br>松任拡幅 | 自：石川県白山市乾町<br>至：石川県白山市宮丸町 | 令和元年度事業化<br>令和4年度用地着手 | 120<br>120 | ・地元情勢の変化等事業を巡る社会経済情勢等に大きな変化が見られない。 | 用地進捗率：約3%<br>事業進捗率：約7%<br>（令和6年3月末時点） | R6年度は以下内容を実施<br>・調査推進<br>調査設計<br>・用地買収推進<br>宮丸町地区ほか用地買収 | ・コンクリート二次製品の活用により、コスト縮減を図る。 |
| 国道8号<br>小松バイパス | 自：石川県能美市大長野<br>至：石川県加賀市箱宮町 | 平成19年度事業化<br>平成21年度工事着手 | 125<br>125 | ・地元情勢の変化等事業を巡る社会経済情勢等に大きな変化が見られない。 | 用地進捗率：100%<br>事業進捗率：約91%<br>（令和6年3月末時点）<br><br>小松市津波倉町～加賀市箱宮町<br>L=3.7km(2/4)平成4年度開通<br><br>能美市大長野町～小松市津波倉町<br>L=11.9km(4/4) 令和5年度迄開通 | R6年度は以下内容を実施<br>・調査推進<br>調査設計<br>・工事推進<br>二ツ梨跨道橋下部工<br>二ツ梨跨道橋ほか上部工 | ・建設発生土の有効活用や新技術の活用等により、コスト縮減を図る。 |

# 北陸地方整備局の事業進捗等について

別紙1

| 事業名<br>（箇所名） | 実施箇所 | 事業期間等 | 総事業費（億円）<br>上段：前回評価時<br>下段：現時点 | 事業を巡る社会経済情勢等の変化 | 主な事業の進捗状況 | 主な事業の進捗の見込み | コスト縮減や代替案等の可能性 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 国道8号<br>加賀拡幅 | 自：石川県加賀市箱宮町<br>至：石川県加賀市黒瀬町 | 平成15年度事業化<br>平成16年度用地着手<br>平成19年度工事着手 | 362<br>362 | ・地元情勢の変化等事業を巡る社会経済情勢等に大きな変化が見られない。 | 用地進捗率：100%<br>事業進捗率：約99%<br>（令和6年3月末時点）<br><br>加賀市箱宮町～加賀市松山町<br>L=2.0km(4/4) 平成22年度開通<br><br>加賀市加茂町～加賀市黒瀬町<br>L=2.2km(4/4) 平成27年度迄開通 | R6年度は以下内容を実施<br>・調査推進<br>調査設計<br>・用地買収推進<br>公共補償<br>・工事推進<br>桑原地区ほか改良工<br>西島地区ほか舗装工<br><br>加賀市松山町～加賀市加茂町<br>L=2.2km(4/4)令和7年内開通予定 | ・建設発生土の有効活用や新技術の活用等により、コスト縮減を図る。 |
| 国道159号<br>七尾バイパス | 自：石川県七尾市川原町<br>至：石川県七尾市下町 | 平成12年度事業化<br>平成12年度用地着手<br>平成21年度工事着手 | 240<br>240 | ・平成28年度　国道470号田鶴浜七尾道路が事業化。<br>・平成29年度　七尾外環状道路が事業化。 | 用地進捗率：約85%<br>事業進捗率：約53%<br>（令和6年3月末時点）<br><br>七尾市古府町～七尾市下町<br>L=2.7km(2/4) 平成26年度開通 | R6年度は以下内容を実施<br>・調査推進<br>調査設計 | ・建設発生土の有効活用や新技術の活用等により、コスト縮減を図る。 |
| 国道159号<br>羽咋道路 | 自：石川県羽咋市四柳町<br>至：石川県宝達志水町二口 | 平成20年度事業化<br>平成24年度用地着手<br>平成27年度工事着手 | 185<br>185 | ・地元情勢の変化等事業を巡る社会経済情勢等に大きな変化が見られない。 | 用地進捗率：約93%<br>事業進捗率：約47%<br>（令和6年3月末時点） | R6年度は以下内容を実施<br>・調査推進<br>調査設計<br>・用地買収推進<br>飯山地区ほか用地買収<br>公共補償<br>・工事推進<br>本江地区ほか改良工<br>本江地区ほか舗装工<br><br>羽咋市四柳町～羽咋市志々見町<br>L=3.3km（2/4）<br>令和7年内開通予定 | ・建設発生土の有効活用や新技術の活用等により、コスト縮減を図る。 |

# 北陸地方整備局の事業進捗等について

別紙1

| 事業名<br>（箇所名） | 実施箇所 | 事業期間等 | 総事業費（億円）<br>上段：前回評価時<br>下段：現時点 | 事業を巡る社会経済情勢等の変化 | 主な事業の進捗状況 | 主な事業の進捗の見込み | コスト縮減や代替案等の可能性 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 国道159号<br>金沢東部環状道路 | 自：石川県金沢市今町<br>至：石川県金沢市鈴見台 | 昭和62年度事業化<br>昭和63年度用地着手<br>平成3年度工事着手 | 1,270<br>1,270 | ・地元情勢の変化等事業を巡る社会経済情勢等に大きな変化が見られない。 | 用地進捗率：100%<br>事業進捗率：約96%<br>（令和6年3月末時点）<br><br>金沢市今町～金沢市梅田町<br>L=1.3km(4/4) 平成13年度開通<br><br>金沢市梅田町～金沢市月浦町<br>L=2.1km(2/4) 平成15年度開通<br><br>金沢市月浦町～金沢市鈴見台<br>L=6.0km(4/4) 令和5年度迄開通 | R6年度は以下内容を実施<br>・調査推進<br>調査設計<br>・工事推進<br>観法寺地区改良工<br>堅田高架橋下部工<br>森本トンネル工着手 | ・建設発生土の有効活用や新技術の活用等により、コスト縮減を図る。 |
| 国道470号<br>輪島道路（Ⅱ期） | 自：石川県輪島市杉平町<br>至：石川県輪島市三井町本江 | 平成24年度事業化<br>平成27年度用地着手<br>平成29年度工事着手 | 335<br>335 | ・地元情勢の変化等事業を巡る社会経済情勢等に大きな変化が見られない。 | 用地進捗率：約87%<br>事業進捗率：約63%<br>（令和6年3月末時点） | R6年度は以下内容を実施<br>・調査推進<br>調査設計<br>・用地買収推進<br>石休場町地区ほか用地買収<br>公共補償<br>・工事推進<br>横地地区ほか改良工<br>（仮称）神田川高架橋下部工 | ・建設発生土の有効活用や新技術の活用等により、コスト縮減を図る。 |
| 国道470号<br>輪島道路 | 自：石川県輪島市三井町本江<br>至：石川県輪島市三井町洲衛 | 平成18年度事業化<br>平成22年度用地着手<br>平成25年度工事着手 | 295<br>295 | ・地元情勢の変化等事業を巡る社会経済情勢等に大きな変化が見られない。 | 用地進捗率：100%<br>事業進捗率：約98%<br>（令和6年3月末時点）<br><br>輪島市三井町本江～輪島市三井町洲衛　L=4.7km（2/4）　令和5年度開通 | R6年度は以下内容を実施<br>・調査推進<br>調査設計<br>・工事推進<br>本江地区改良工 | ・建設発生土の有効活用や新技術の活用等により、コスト縮減を図る。 |
| 国道470号<br>田鶴浜七尾道路 | 自：石川県七尾市赤浦町<br>至：石川県七尾市千野町 | 平成28年度事業化<br>平成30年度用地着手<br>令和2年度工事着手 | 135<br>135 | ・地元情勢の変化等事業を巡る社会経済情勢等に大きな変化が見られない。 | 用地進捗率：約84%<br>事業進捗率：約27%<br>（令和6年3月末時点） | R6年度は以下内容を実施<br>・調査推進<br>調査設計<br>・用地買収推進<br>赤浦地区ほか用地買収<br>・工事推進<br>国分地区ほか改良工<br>（仮称）笠師川橋下部工 | ・建設発生土の有効活用や新技術の活用等により、コスト縮減を図る。 |